

電機・情報ユニオン

2023年1月10日 第137号

発行 電機・情報ユニオン

〒142-0043 東京都品川区二葉

2-20-8染野ビル2F

Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324

Email: denkiunion@gmail.com

アップルジャパンは偽装請負を止めよ



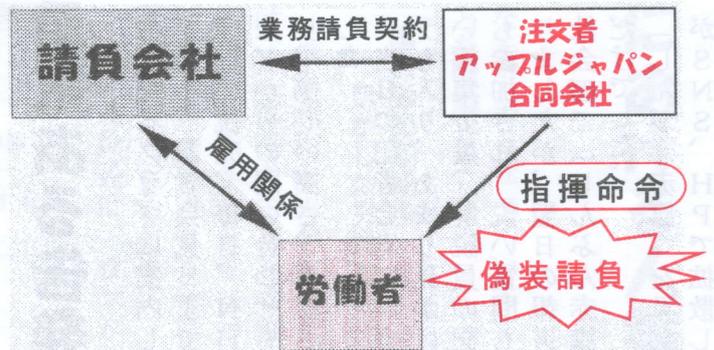
1月26日(木)厚労省記者会会見場での記者会見

電機・情報ユニオンは1月26日(木)、厚生労働省記者会会見場で、アップルジャパン合同会社(以下、アップルジャパン)と第1回団体交渉を2月2日に行うことを記者会見しました。記者会見には、NHKの放映用のカメラ収録が行われるなか、朝日新聞、しんぶん赤旗などの約10社が取材に参加しました。

偽装請負と

ハラスメントを告発

米田徳治中央執行委員長は「アップルの日本法人であるアップルジャパンで偽



偽装請負の関連図

装請負(右図に示す)が常態化していることを当組合員が告発したところ、アップルジャパンは違法行為を正すのではなく、告発した組合員に対して「解雇を視野に入れた懲戒処分が適用されず」を含めた警告書を発令し、上司らが報復的なハラスメントを行っています。昨年9月26日には、神奈川県労働局へ偽装請負告発による警告処分の撤回と是正措置を求めて「助言指導申出」の取り組みを行ってき

ました。しかしながら、アップルジャパンに対して神奈川県労働局からの「口頭助言」が行われたにもかかわらず、職場ではいまだ偽装請負が是正されていません。こうした事態の中で、電機・情報ユニオンは団体交渉を昨年12月14日に申入れ、2月2日に団体交渉の成立の見通しとなったことから、本日の記者会見の発表となったものです」と報告し、「すでに、米アップル本社のタイム・クックCEO宛にアップルジャパンで働く労働者が電機・情報ユニオンに加入したこと、働く環境が改善されなければ、米アップル本社の指導援助を求めて行動することもすでに通知しています。団体交渉で、アップルジャパンを正していきたい」と述べました。

取材記者から、偽装請負や警告書、ハラスメントの状況などに関する質問が多く出されました。当該の労働者は質問に答え、「私が行っている業務内容が『偽装請負』と思っ

て社内告発したところ、警告とハラスメントを受けて強いストレスを強いられました。労働組合に入っ

た。労働組合に入っ社
の不正とたたかっ
す」などを返答しま
2月2日に
第1回団体交渉
電機・情報ユニオンは、アップルジャパンで働く労働者が「安定した雇用と生活と権利」そして、職場で自由にものが言えるよう「職場の自由と民主主義の確立」を求める取り組みを進めていきます。
2月2日(木)には第1回団体交渉を行い、5月4日(木)には「アップルでたたかう労働者を支援する集会(仮称)」などを計画しています。

第137号の紹介

- 1面 アップルジャパンは偽装請負を止めよ
- 2面 団体交渉で、要求実現の前進をつくろう
米田委員長メッセージ110
- 3面 責任あるサプライチェーンにおける人権尊重
のためのガイドライン オンライン学習会
- 4面 誰もが10%以上3万円以上の賃上げを
告知板、あとがき

団体交渉で、要求実現の前進をつくろう

日本国憲法第28条や労働組合法で保障されている団体交渉は、組合員の要求実現を果たすうえで大きな力を発揮します。

昨年の12月から2月にかけて、HYSエンジニアリングサービス、NEC通信システム、ルネサスエンジニアリングサービス、三菱電機、NEC、アップルジャパンの6名の組合員が団体交渉を取り組みました(下の表)。

団体交渉の実施状況

組合員	企業名	実施年月日
団交回数	団交内容	
		2022年12月8日(木)
Aさん	HYSエンジニアリングサービス	
第1回	パワハラ、処遇	
		2022年12月23日(金)
Bさん	NEC通信システム	
第14回	処遇	
		2022年12月27日(火)
Cさん	ルネサスエンジニアリングサービス	
第6回	処遇	
		2023年1月20日(金)
Dさん	三菱電機	
第7回	パワハラ	
		2023年1月24日(火)
Eさん	NEC	
第6回	処遇、労働安全衛生	
		2023年2月2日(木)
Fさん	アップルジャパン	
第1回	偽装請負、パワハラ	

HYSエンジニアリングサービスのFさんは、団体交渉を初めて取り組み、最多回数のNEC通信システムのBさんは、2020年3月にBさんが社長(当時)と締結した「合意書」の履行を誠実に行っていくことを改めて確認させました。NECのEさんの団体交渉では、当ユニオンでは初めての「労働安全衛生配慮義務」に関する交渉を行い、Eさんに対する「労働安全衛生配慮」を実施していく

ことを労使で確認できました。各団体交渉の成果はばらつきがありますが、Cさんの事例が示すように国際労働基準に基づいて粘り強く取り組み、大きな成果に結実します。自らの要求実現を前進させるため、団体交渉を積極的に取り組んでいきましょう。また、目の前の23年春闘要求の団体交渉を奮って取り組まれることを呼びかけます。

アップルジャパンの組合員が勇気ある告発・記者会見

米田委員長メッセージ

1月26日、厚労省記者クラブで米Appleの日本法人であるApple Japan 合同会社(以下、アップルジャパン)で働く組合員が、勇気をもって記者会見を行いました。

私は記者会見で、①アップルジャパンで労働組合が結成され、2月には団体交渉が開始されること ②アップルジャパンの職場では「偽装請負」「ハラスメント」が起きていること。③「偽装請負」を告発した組合員に対して「解雇を

視野に入れた懲戒処分」を明示した「警告書」が発出されているという異常な事態が生まれていることを明らかにしました。そして、アップルジャパンという巨大外資企業で「日本の法令がきちんと順守されること」「日本の電機情報関連産業の職場と同様、職場で自由にものが言え、民主主義の確立求めていること」を訴えました。

記者会見の1週間前に厚

労省記者クラブに案内したところ、記者会見日までに朝日、読売、毎日、NHKなどからの問い合わせもあり、関心の高さを実感しました。

当日の記者会見にはカメラも入り、あまり見かけない編集委員、解説員の記者も参加され、鋭い質問もありましたが、翌日の報道は、社会面で「しんぶん赤旗」だけでした。「しんぶん赤旗」を見た方がSNS、HPで拡散して

いただいております、感謝してあります。アメリカ本国のAppleは、アメリカ企業(経営)研究者の夏目啓二龍谷大名教授の著書「GAFAM支配と民主的規制」によると、「世界の株式の時価総額(企業価値額ともいう)という指標で見ると、時価総額2兆8921億ドル(1ドル130円で換算すると370兆円、日本の国家予算の3倍を超える)」で世界のトップの超巨大企業です。

5月4日には、夏目教授を講師にお招きして学習を兼ねた「アップルでたかろう労働者を支援する集会(仮称)」「(仮称)も準備中です。

